

令和元年度病虫害発生予報第11号

令和2年2月5日
鳥取県病虫害防除所

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	発生時期	予想発生量
野菜	ラッキョウ	白色疫病	—	平年並

気象予報（抜粋）

1か月予報（2月1日～2月29日：1月30日、広島地方気象台発表）

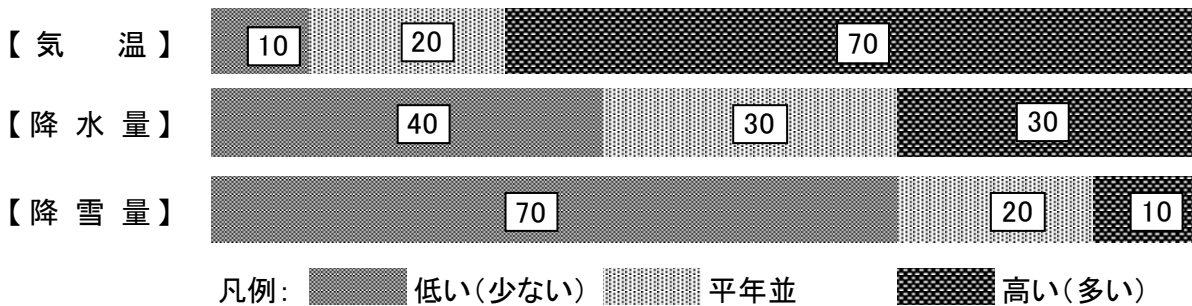
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

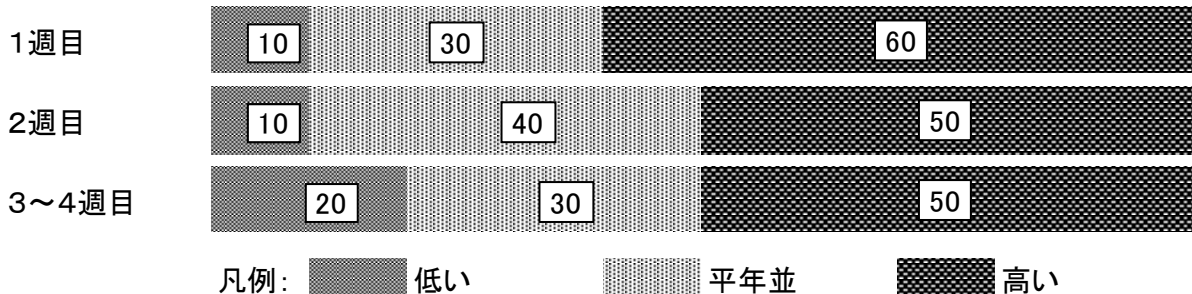
向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



野菜

[ラッキョウ]

1 白色疫病

(1) 予報の内容

発生量 平 年 並

(2) 予報の根拠

ア 1月下旬現在、現地調査ほ場における本病の発生量は、県東部は平年並、県中部はやや少ない。

イ 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨により、発病が急速に広がりやすい。

ウ 向こう1か月の気象予報から、発生量は平年並と予想される。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本病の発生が認められる場合は、フォリオゴールド1, 000倍液、ホライズンドライフロアブル1, 000倍液などを展着剤を加用して茎葉にむらなく散布する。

イ 発病が認められない場合でも、2～3月の後期発生を予防するため、雪解け直後や連続降雨時の雨の止み間などに、フロンサイド水和剤1,000倍液などを展着剤を加用して散布する。

ウ 罹病株は伝染源となるので、ほ場外に持ち出し処分する。

エ 本年は暖冬傾向であるため、本病の春期の発生時期が早まることが予想される。本病の防除は2月末までに済ませておくことが望ましい。

[おしらせ]

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに、周辺への飛散には十分注意しましょう。

農薬の詳しい登録内容は、独立行政法人 農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報検索システム」から検索できます。(http://www.famic.go.jp/)

なお、農薬の使用や防除指導等に際しては、農薬のラベルを必ず御確認ください。

<鳥取県病虫害防除所ホームページ>

アドレス <http://www.jppn.ne.jp/tottori/>

病虫害発生予察情報、フェロモントラップ調査結果（ナシのシンクイムシ類）などの参考情報、病虫害の診断方法などの情報をお知らせしていますので、ご利用下さい。

<お問い合わせ>

普通作物関係：〒680-1142 鳥取市橋本 260

鳥取県病虫害防除所

(TEL：0857-53-1345、E-mail：boujyot@titan.ocn.ne.jp)

もしくは

鳥取県農業試験場環境研究室

(TEL：0857-53-0721、FAX：0857-53-0723)

果樹・野菜・花き関係

〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿 2048

鳥取県園芸試験場環境研究室

(TEL：0858-37-4211、FAX：0858-37-4822)

※予報第12号の発表は、3月11日（水）の予定です。